



# 脱マイカー 活発化

## マンションでカーシェア 低価格レンタカーも好調

自家用車を所有せず、必要な時に一時的に車を借りる「脱マイカー派」が札幌圏で増えている。車を複数の会員が共同で使う「カーシェアリング」の利用拠点が増えているほか、低価格レンタカーも盛況。居住者がカーシェアリングを利用できるマンションなど新たな取り組みも目立つ。消費税増税や高いガソリン価格が背景にあり、こうした動きは今後も広がりそうだ。（渡辺淳一郎）

マンション企画・販売の日本グランデ（札幌）は2013年春以降、札幌市内の分譲マンションの駐車場にカーシェアリング用の小型電気自動車1台ずつ配備するサービスを始め、現在は6カ所で実施。入居者の管理費の一部を運営に充てており、利用時に新たにかかる費用はなく、予約はほぼ埋まっているという。

札幌市北区の同社マンションに住むフラワーデザイナー梅沢美枝さん（31）は週3回ほど、花の配達などに利用している。「車を持てば駐車場代などの出費が必要だが、カーシェアリングはその心配がない。マイカーを持つとうちは思いません」と歓迎する。カーシェアリングの料金には保険料なども原則含まれており、運転する頻度が少ない場合、車検代、駐車場代などの維持費を払いながら車を保

## 札幌圏 背景に増税、ガソリン高

有するより安上がりになる利点がある。

同市内に84カ所計1422台の車両拠点を持つ全国大手のタイムズ24では、会員数が1年前の1・6倍に拡大。昨年4月の消費税増税後、伸びは顕著だという。

アースカー（東京）の同市内の車両拠点は11年10月の事業開始時に1カ所1台だったが、現在は9カ所計10台に拡大。会員数も約200人に上る。春の転勤時期は前任地でマイカーを手放し、カーシェアリングを利用し始めるケースが目立つという。利用料金は15分100円から。担当者は「サービスの利点が知られるようになり、需要は増えている」と手応えを話す。

低価格レンタカーも人気を集める。中和石油（札幌）では、半日2500円（コンパクトカー）から車を使うことができ、札幌市内で1日に利用される100～150台のうち半数を地元客が占める。交通エコロジィ・モビリティ財団（東京）がカーシェアリングの実施状況について昨年1月に行った調査によると、全国で33事業者が事業を行い、会員数は前年比6割増の約46万人。首都圏のほか、札幌を含む地方都市でも広がりをみせているといい、「車の所有を経済的な負担と考える消費者が増えている。カーシェアリングなどの動きは、今後も活発になる可能性がある」と分析している。

札幌市北区のマンションに配備されたカーシェアリング用の小型電気自動車。買い物などに使われることが多い